

□要請番号 (JL04823A14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	C141 農業機械		個別	新規	2年	・2024/1・2024/2・2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

農業畜産省

2) 配属機関名（日本語）

パロ農業機械・技術センター

3) 任地（パロ県ボンディ） JICA事務所の所在地（ティンプー市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約1.5時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

効率的な農業技術開発並びに普及のため、農業機械化の促進を目指して1983年に農業機械化センター(AMC:Agriculture Machinery Centre)が設立され、全国に4つの地域センターを配している。配属先は農業機械の販売や修理、農業機械の貸出サービスなどを実施している地域センターの一つであり、2018年まで農業機械のJICA海外協力隊員が活動していた。また、JICA技術協力プロジェクト「農業機械化強化プロジェクトフェーズII」(2014年8月～2017年8月迄)が実施された。年間予算は約4,500万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、上述のJICA技術協力プロジェクトを通じて、農業機械試験基準と実施要領作成を行い、農業機械の操作性、安全性等にかかる適合試験を実施している。農業機械振興のため、政府は農業機械に関する税を課しておらず、近年では日本やインド、中国、タイなどから農業機械が輸入されている。これらに対し配属先は、最新型の農業機械にも対応した適合試験を確立し、基準を満たした農業機械の導入・活用を推奨したいと考えている。職員の知識・経験を向上させることで、より適切な試験プログラムの実施ができるよう、JICA海外協力隊の要請がなされた。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先の同僚と協力しながら、以下の活動を行う

- 農業機械の評価・試験を実施する業務を通じて、スタッフの知識、経験の向上を支援する。
- 農業機械の試験基準、試験実施要領の改良を支援する。
- 測定器の較正(精度の調整)にかかる助言、支援を行う。
- 同僚スタッフの能力向上を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

動力計、振動計、騒音計、プッシュプルゲージ、オパシメータ、デジタルパワーメータ等

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

上長:エンジニア長、(50代、男性、修士)

カウンターパート:チーフエンジニア(40代、男性、大卒)

エンジニア(男性、女性、4名、20～30代)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許] : ()

[学歴] : (大卒) 備考 : 査証取得のため

[性別] : () 備考 :

[経験] : (実務経験) 2年以上 備考 : 指導的な活動を行うため

[参考情報] :

- ・メカニカルエンジニアの経験
- ・IT知識が必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (温暖冬季少雨気候) 気温 : (-5~30°C位) [電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可) 電話可 [水道] : (安定)

【特記事項】

- ・現地語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。